

## 国際旅客チャーター便の実証運航について

### 【運航の内容】

- ・ 運航日 平成24年8月12日(日)、15日(水)、19日(日)
- ・ 運航時間、区間 新千歳空港22:30発→韓国・務安(むあん)国際空港
- ・ 運航会社 大韓航空
- ・ 運航機材 B737-900 (座席数:188席)
- ・ 利用形態 韓国からのツアー客の帰国便として利用。

### 【検証事項】

- ・ C I Q体制やターミナルビルの営業時間の延長、交通アクセスなど、枠拡大時の国際旅客便の円滑な運航に向けた課題。

注) C I Q: 国境を越える際の交通・物流において必要な手続で、税関(Customs)、出入国管理(Immigration)、検疫(Quarantine)を包括した略称。あるいはそれらを実施する機関または施設。

## I 関係機関からの事後聴取結果

上記チャーター便の運航終了後、関係機関や空港ビル・店舗等から、当日の対応等について聴き取りを実施。

### ■ 聴取結果の概略

#### ○ C I Q体制 (出国審査・出国検査)

- ・ ツアー会社を取り仕切るツアー客の出国であったこともあり、パスポートの不所持などもなく、出国審査(札幌入国管理局千歳苫小牧出張所)・出国検査(函館税関千歳税関支署)とも、スムーズに対応できた。(出国に関しては検疫の対応はなし。)

#### ○ ターミナルビルの営業体制

- ・ 国際線ターミナルの閉館時間を延長して対応。(22:30→23:00)

- ・ 出発ロビー内店舗は、10店舗中9店舗が営業。(免税店を含む、制限エリア内の5店舗については、すべて営業)

- ・ 非制限エリア(4店舗) [営業時間:20時頃～21時頃]

- ・ 制限エリア(5店舗) [営業時間:21時頃～22時頃]

※ 通常の閉店時刻(概ね最終定期便出発時刻の16:40頃)に一旦クローズし、その後上記時間に再開。

- ・ 事前に関係者会議を開催し、閉館時間延長に係る特段のトラブル等はなかったが、店舗の利用状況については、昼間時間帯と比較すると、飲食店などにおいて利用者は多くなかった。

#### ○ 交通アクセス

- ・ 勤務後の職員の公共交通アクセスについて、一部、札幌市内在住の出発ロビー内店舗従業員の帰宅において、同市内の公共交通機関の運行が終了していたため、自宅の最寄り駅からタクシー利用の事例が生じた。

- ・ このほかは、C I Q等職員の帰宅において、今回の出発時刻(22:30)では現行ダイヤにより対応可能であったが、運航時刻によっては航空会社から事前の相談等が必要である。

### ■ 枠拡大時の国際旅客便の円滑な運航に向けた主な課題等

#### ○ 深夜・早朝勤務体制に係る見直し、感染症の有症者が発生した場合の医療連携の検討など、C I Q機関の更なる体制の整備・充実。

#### ○ 深夜・早朝時間帯における出発ロビー内の各店舗の営業に当たっては、国際旅客便利用者による需要(利用者数や客層、また利用者の主体が日本人か外国人かなど)が必要であり、ある程度まとまった時間帯における国際旅客便発着回数が必要と考えられる。

#### ○ 交通アクセスについて、現行の公共交通機関(JR・バス)の空港ターミナルにおける運行ダイヤの拡充(始着時刻の前倒し、終発時刻の後倒しなど)。

## II 利用者アンケート結果

平成24年8月15日(水)の運航便の搭乗者(韓国からのツアー客180名)を対象に、道から大韓航空に依頼し、深夜便や空港の利便性などに関する利用者アンケートを実施。

■ アンケート回収数：106/180 (回収率59%)

### ■ 集計の結果

	回答数	回答率
<b>■ 出発時の空港ターミナル施設について</b>		(%)
・必要な店舗等は開いており、特に不便は感じなかった。	80	75.5
・利用したい店舗が開いていないなど、不便を感じた。	14	13.2
<b>■ 出国審査について</b>		
・スムーズだった。	98	92.5
・30分以上の待ち時間があった。	4	3.8
<b>■ 深夜運航便を利用して、メリットと思うことは？ [複数回答可]</b>		
・旅行最終日もまる一日北海道観光を楽しめた。(北海道に長く滞在できた。)	83	78.3
・居住地に深夜に帰着でき、旅行日数を短くできた。	39	36.8
・空港ターミナルでゆっくり過ごせた。	24	22.6
・ツアー価格が安かった。	9	8.5
<b>■ 今後、また、国際線深夜・早朝便を利用したいですか。</b>		
・深夜、早朝便とも機会があれば利用したい。	89	84.0
・深夜便のみ機会があれば利用したい。	8	7.5
・深夜、早朝便とも利用したくない。	3	2.8
・早朝便のみ機会があれば利用したい。	1	0.9
<b>■ 今後、深夜・早朝便を利用するに当たって重要と思われるもの。(優先順位1位のもの)</b>		
・空港までの交通アクセス	43	40.6
・出国(入国)審査の迅速な対応	27	25.5
・ツアー価格	21	19.8
・空港ターミナル施設の充実[店舗が営業している等]	8	7.5

※ 回答数の降順による。

### ■ 集計結果の概略

- 「出国審査についてはスムーズだった。また、空港ターミナル施設については特に不便は感じなかった。」との意見が多かった。
- また、深夜運航便利用のメリットとして、「北海道に長く滞在できた。また、居住地に深夜に帰着でき、旅行日数を短くできた。」との意見が多く、「今後また国際線深夜・早朝便とも機会があれば利用したい。」との回答が84%を占めるなど、今回の深夜運航便の利用には、好印象の意見を多くいただいた。